



"外国株式の 投資先について知ろう "

一般社団法人確定拠出年金推進協会

2023/10/25 配信

DC ニュースレター

運用商品ラインナップの中に外国株式型という投資信託があります。外国株式と言えば、どんな銘柄を想像するでしょう？代表的な銘柄に GAFAM と言われる世界的な IT 企業群があります。G : Google、A : Apple、F : Facebook、A : Amazon、M : Microsoft。このような銘柄に投資したいと思いませんか？

外国株式とは、海外（外国籍）の企業が発行する株式のことを言います。国内の投資家も外国の証券取引所および国内の金融商品取引所に上場している外国株式に対して投資をすることができますが、国内株式の売買に比べると少々ハードルが高いと言えます。

海外には、GAFAM に代表されるようにグローバルに展開する企業や、成長性の高い企業、日本企業よりも高い配当利回りが期待できる企業が数多くあります。その中から選りすぐりの企業の株式をパッケージ化したものが外国株式型の投資信託となります。直接に銘柄を選んで購入するのではなく、パッケージ化されていることが投資信託のメリットですね。

投資信託の世界では、外国株式型と言ってもいくつかのカテゴリーがあります。今回は、そのカテゴリーのご紹介をしていきます。外国株式型（先進国株式型）、全世界株式型、米国株式型、新興国株式型と大きく 4 つに分かれます。

外国株式型（先進国株式型）

外国株式型（先進国株式型）は、日本を除く先進国の株式に投資する投資信託を言います。先進国株式型と言えばわかりやすいのですが、単に外国株式型と言う場合は、先進国株式型をいうことが多いです。では、先進国とは、どんな国でしょうか？

アメリカ、ドイツ、イギリス、フランス、カナダ、スイスが代表例ですが、その他、オーストラリア、アジアで唯一入っている香港、イスラエルも先進国に入ります。

外国株式型のベンチマークは、MSCI-KOKUSAI インデックスが使用されます。MSCI-KOKUSAI インデックスとは、MSCI 社（モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル）が算出している株価指数です。日本を除く先進国 22 カ国で構成された指数で、機関投資家や投資信託の外国株投資のベンチマークとして広く採用されています。



確定拠出年金に関するご相談窓口はこちら

TEL 03-5689-3358

MAIL 401k@member.deco-pa.com

一般社団法人確定拠出年金推進協会

東京都文京区後楽 2-2-14 トータスビル 1 F

<https://www.deco-pa.com>



す。KOKUSAI（コクサイ）と名がついているのは、日本人に向けた株価指数ということです。

全世界株式型

全世界株式型は、世界中の株式の値動きを示す指数に連動するものを指します。つまり、全世界株式に投資をしていれば、日本を含む世界中の株に分散投資をしたのと同じような効果を得ることができます。日本にも世界的に活躍する企業が数多くあります。例えば、トヨタ、ソニー、キーエンス、任天堂、村田製作所などです。先進国株式だけでなく、経済成長率の高い新興国株式や日本の株式にも投資したいという方も多いと思います。世界の経済成長に期待して長期投資をしたいという投資初心者にもおすすめとも言えます。

ベンチマークは、MSCI オールカントリーインデックスです。その名の通りで、分かりやすいですね。

米国株式型

何といっても、世界経済をけん引しているのはアメリカと言って良いでしょう。世界の株式の時価総額の40%を占めています。米国株とは、米国の証券取引所に上場している株式を指します。ニューヨーク証券取引所とNASDAQが有名ですね。米国株式市場には好パフォーマンスの実績があります。米国株は10年間で5倍以上も成長するなど、全世界株のパフォーマンスを遥かに超えています。

米国株式を代表する指標には、ニューヨークダウ平均がありますが、この30年で約12倍に上昇しました。さらに、NASDAQ総合指数の同期間の上昇率は約21倍と、ダウ平均よりも上昇しました。

ニューヨークダウ平均やNASDAQ総合指数よりもアメリカの株式全体のパフォーマンスを見るのに使用されるのが、S&P500 指数です。

S&P500 は、アメリカを代表する500社の株式で構成され、米国株式市場の時価総額の約80%をカバーしています。一部では、『世界最強の株式指数』とも言われ、S&P500 に連動するインデックス・ファンドに投資していれば大丈夫と言い切る投資家もいます。

新興国株式型

新興国は、経済発展の途上にある国々のことであり、今後の成長余地が大きいと見込まれています。新興国の2014年から2019年のGDP成長率平均は、5.3%であり、先進国の2.3%と比較して高い経済成長を遂げてきました。

新興国株式型のベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックスで MSCI が定義した新興国の株式を対象とした指数です。

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、新興国の株価の動きを表す代表的な指数とされています。最大の比率を占めるのが、中国で、全体の約3分の1を占めます。次は、台湾、韓国、そして、インド、ブラジルと続きます。これら上位5カ国で全体の約4分の3を占めます。

今のご時世、中国と台湾で時価総額全体の46%を占めるので、新興国株式型に投資するのは注意したいところです。

外国株式と一口に言っても、このようにアメリカ、ヨーロッパ、アジア等の各市場の中から幅広い投資対象からなる投資信託が用意されています。これらの中から、将来の成長性、各自のリスク許容度などを勘案して投資対象を選んでいくことになります。

日本に住んでいると日本の情報ばかりが目につきますよね。確定拠出年金の商品選定をきっかけに、世界にも目を向けてみるのもいいかもしれません。世界の株式に分散投資する絶好の機会です。



確定拠出年金に関するご相談窓口はこちら

TEL 03-5689-3358

MAIL 401k@member.deco-pa.com

一般社団法人確定拠出年金推進協会

東京都文京区後楽2-2-14 トータスビル1F

<https://www.deco-pa.com>

